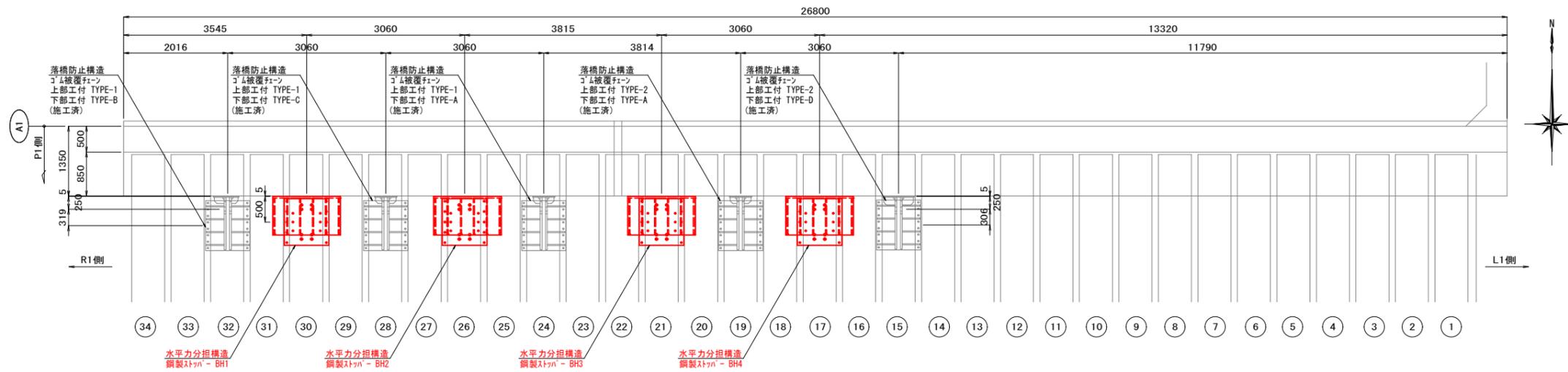
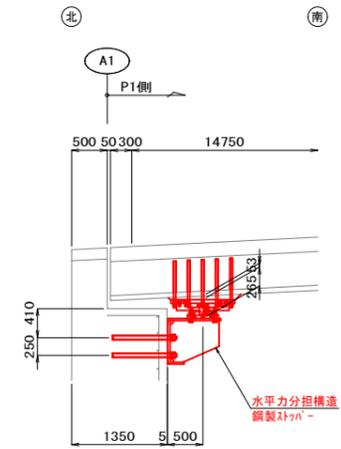


【A1橋台】水平力分担構造 配置図

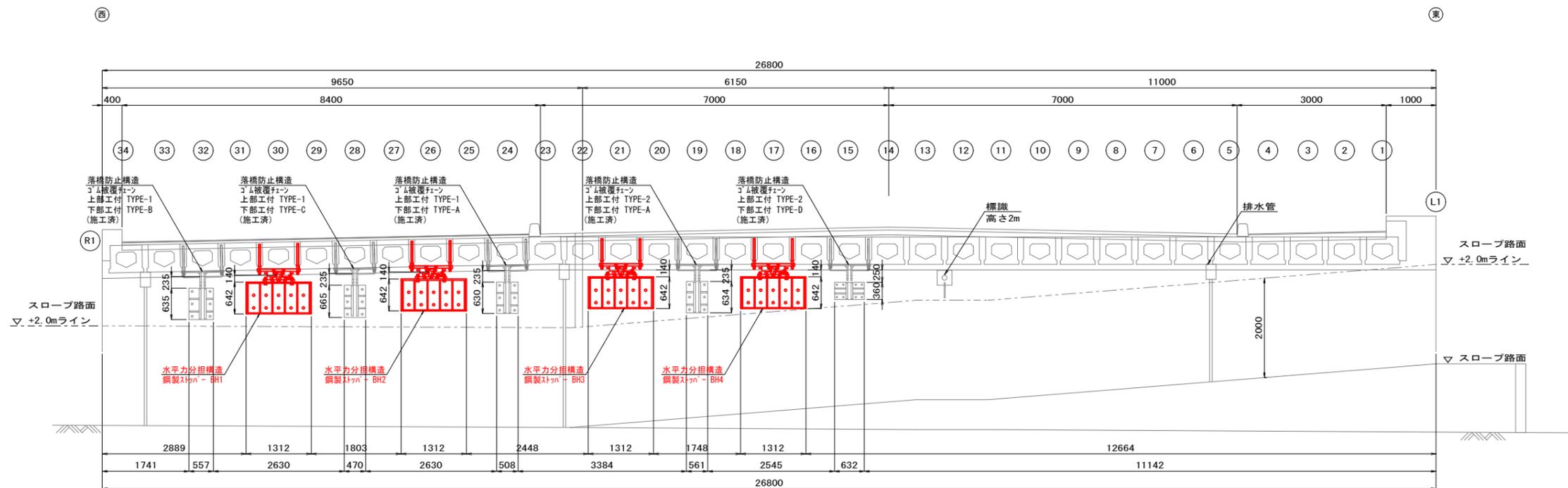
平面図
S=1:50



側面図
S=1:50



正面図
S=1:50



- 注記
1. 図中詳細寸法は、足場架設後に現地実測の上決定のこと。
 2. 下部工側は鉄筋探査を行い、既設鉄筋を切断しないように留意すること。
 3. 既設構造物寸法形状は、工事に先立ち再計測・再確認を必ず実施し、工事に反映すること。
 4. 製作は現地計測確認の上行うこと。
 5. 下部工付きブラケット位置を変更する場合はスロープ路面+2.0mラインを下回らないようにすること。

工事名	月の瀬橋耐震補強工事				
種別	【A1橋台】水平力分担構造 配置図				2/10
事業名	道路事業	課長	課長補佐	係長	設計
	令和6年度				
高知市 都市建設部 道路整備課					

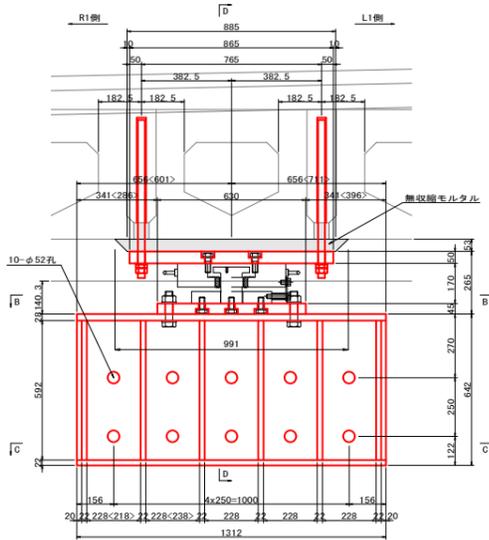
【A1橋台】水平力分担構造 詳細図

BH1・<BH2>・BH3・BH4
S=1:15

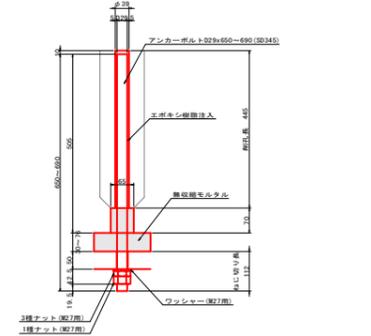
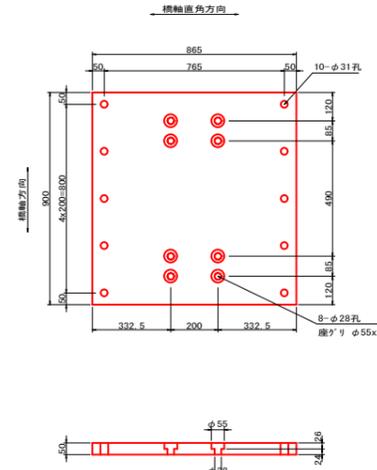
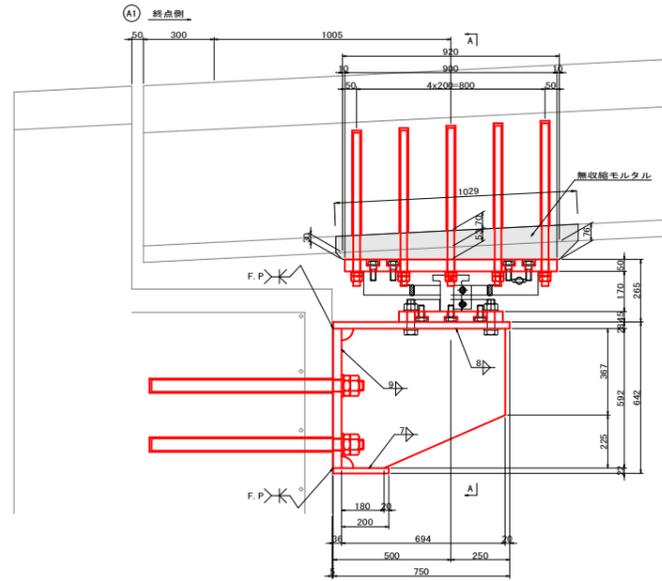
上側取付プレート
S=1:15

アンカーボルト詳細図
S=1:10

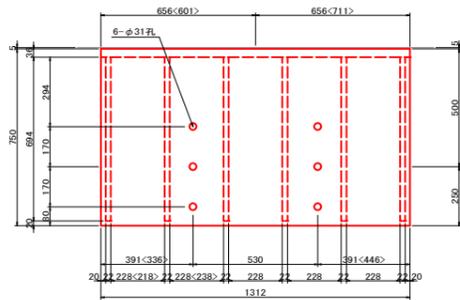
【A-A】



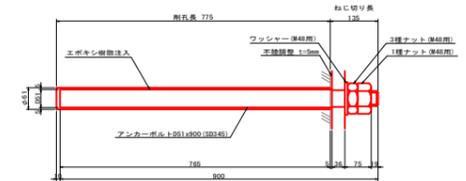
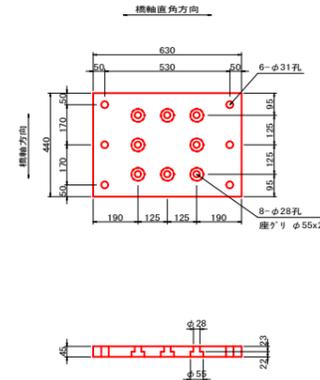
【D-D】



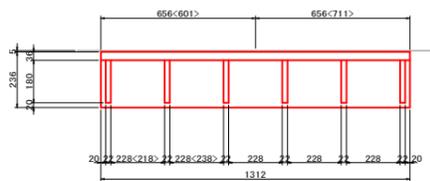
【B-B】



下側取付プレート
S=1:15



【C-C】



【1基当たり材料(製作数:4)】

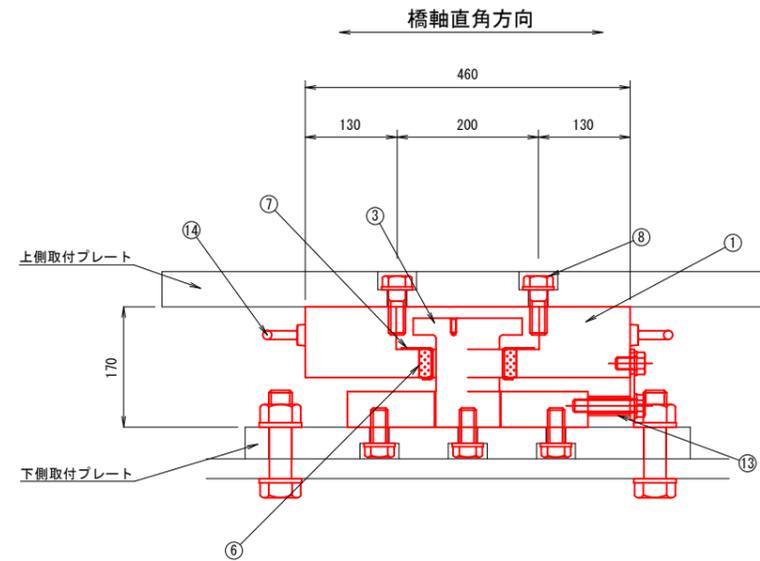
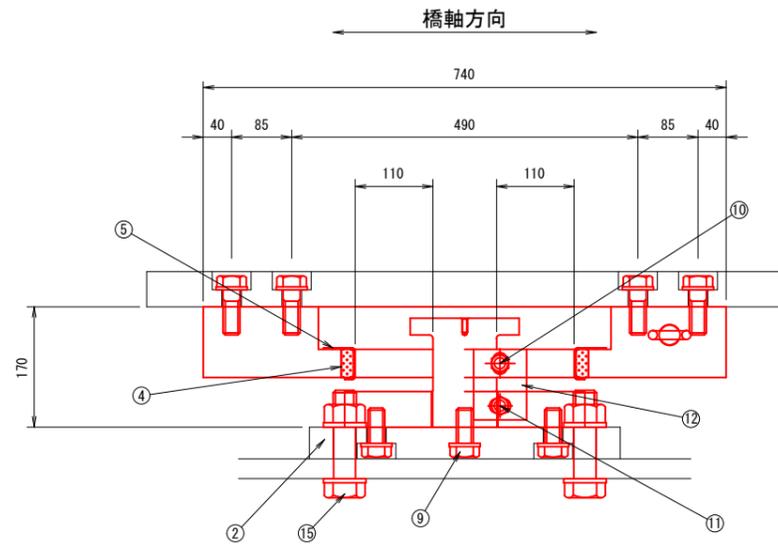
- 1-PL 750×28×1312
- 1-PL 236×22×1312
- 1-PL 592×36×1312 (SM400B)
- 6-PL 592×22×694
- 1-PL 865×50×900 (SS400)
- 1-PL 440×45×630 (SM520C)
- 10-Anc Bolt D29×670 (SD345) (平均)
- 10-1種 Nut M27用 (SS400)
- 10-3種 Nut M27用 (SS400)
- 10-Washer M27用 (SS400)
- 10-Anc Bolt D51×900 (SD345)
- 10-1種 Nut M48用 (SS400)
- 10-3種 Nut M48用 (SS400)
- 10-Washer M48用 (SS400)

- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全てR50とする。
 3. ※部材以外は全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は JIS H8641 HDZ55とする。但し、ボルト・ナットはHDZ35とする。
 4. 既設構造物寸法形状は、工事に先立ち再計測・再確認を必ず実施し、工事に反映すること。
 5. 製作は現地計測確認の上行うこと。

工事名	月の瀬橋耐震補強工事			
種別	【A1橋台】水平力分担構造 詳細図			3/10
事業名	道路事業	課長	課長補佐	係長 設計
	令和6年度			
高知市 都市建設部 道路整備課				

【A1橋台】水平力分担構造 詳細図(鋼製ストッパー) (参考図)

詳細図
S=1:5

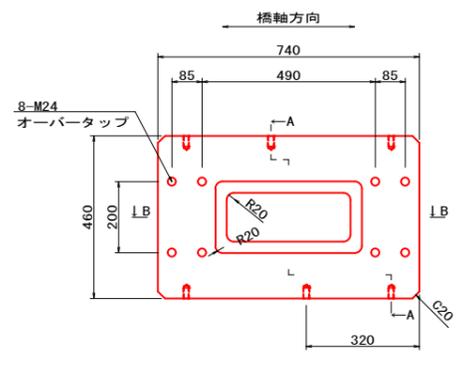


鋼製ストッパー材料表 (1基当り)

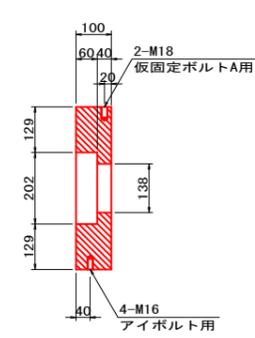
番号	名称	規格	単位	数量	摘要
1	ソールプレート	SEL-N900-110	個	1	SM490A:亜鉛7%溶射処理
2	リミットアッププレート	SEL-N900用	個	1	SM490A:亜鉛7%溶射処理
3	リミットピン	SEL-N900用	本	1	SCM435:ナクロイスト処理,DMコート
4	ハッファ-A	SEL-N900用	個	2	クボテレンゾム
5	ハッファガイドA	SEL-N900用	個	2	SUS
6	ハッファ-B	SEL-N900用	個	2	クボテレンゾム
7	ハッファガイドB	SEL-N900用	個	2	SUS
8	セッパ墊(上側)	M24x70 1W付	組	8	強度区分8.8:亜鉛めっき(HDZ35)
9	セッパ墊(下側)	M24x55 1W付	組	8	強度区分8.8:亜鉛めっき(HDZ35)
15	取付墊	M27x125 2W付	組	6	強度区分8.8:亜鉛めっき(HDZ35)
納入時用部材					
10	仮固定墊A	M18x30 1W付	組	2	SS400相当品:電気めっき
11	仮固定墊B	M18x90 1W付	組	2	SS400相当品:電気めっき
12	仮固定プレート	SEL-N900用	個	2	SS800:電気めっき
13	スパーサー	SEL-N900用	個	2	SGP20A:溶融亜鉛めっき
14	アイ墊	M16	個	4	SS400相当品:亜鉛めっき(HDZ35)

部材図

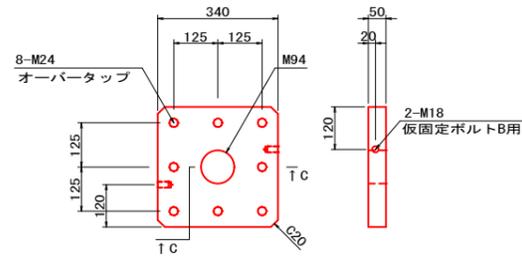
① ソールプレート
S=1:10



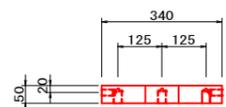
【A-A】



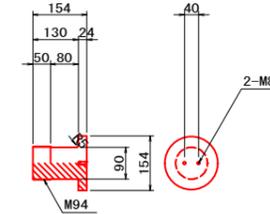
② リミットアッププレート
S=1:10



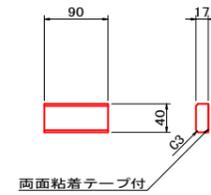
【C-C】



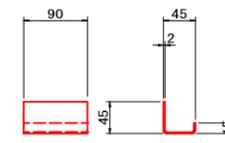
③ リミットピン
S=1:10



④ ハッファ-A
S=1:5



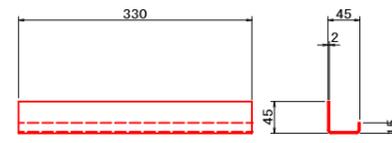
⑤ ハッファガイドA
S=1:5



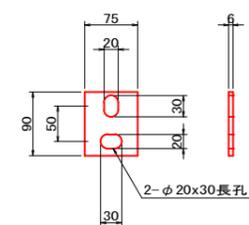
⑥ ハッファ-B
S=1:5



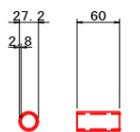
⑦ ハッファガイドB
S=1:5



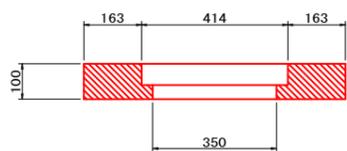
⑫ 仮固定プレート
S=1:5



⑬ スパーサー
S=1:5



【B-B】

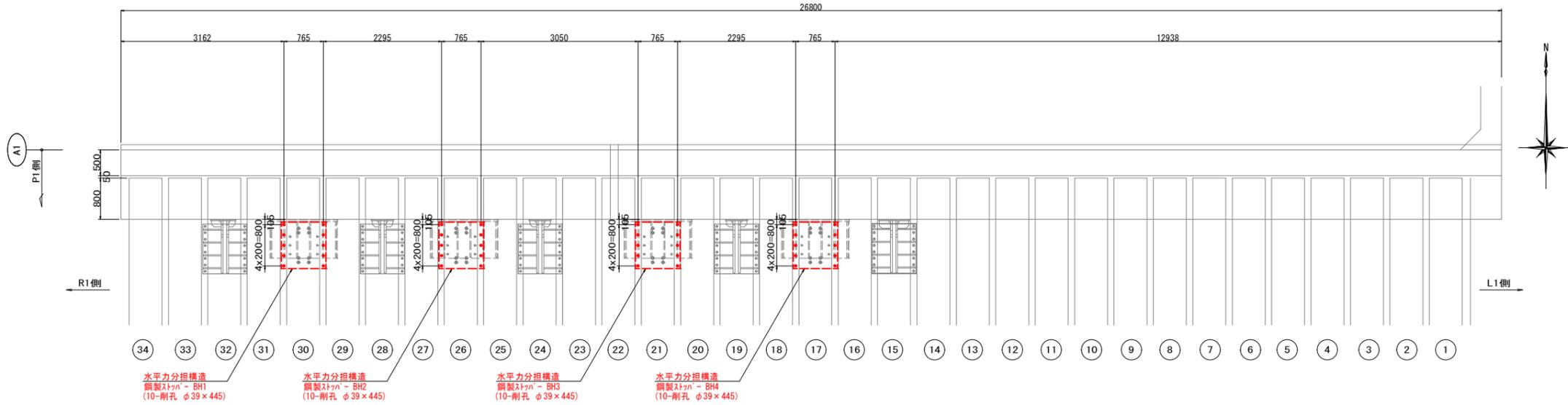


- 注記
- 鋼製ストッパーの納入時組立高さは、取付詳細図に示す製品高+10mm程度とする。
 - 取付時は仮固定ボルト他、納入時部材を取り外し、所定の高さで設置すること。
 - 納入時部材を取り外した後のタップ孔は樹脂ボルトもしくはパテ材で埋めること。
 - 既設構造物寸法形状は、工事に先立ち再計測・再確認を必ず実施し、工事に反映すること。
 - 製作は現地計測確認の上行うこと。

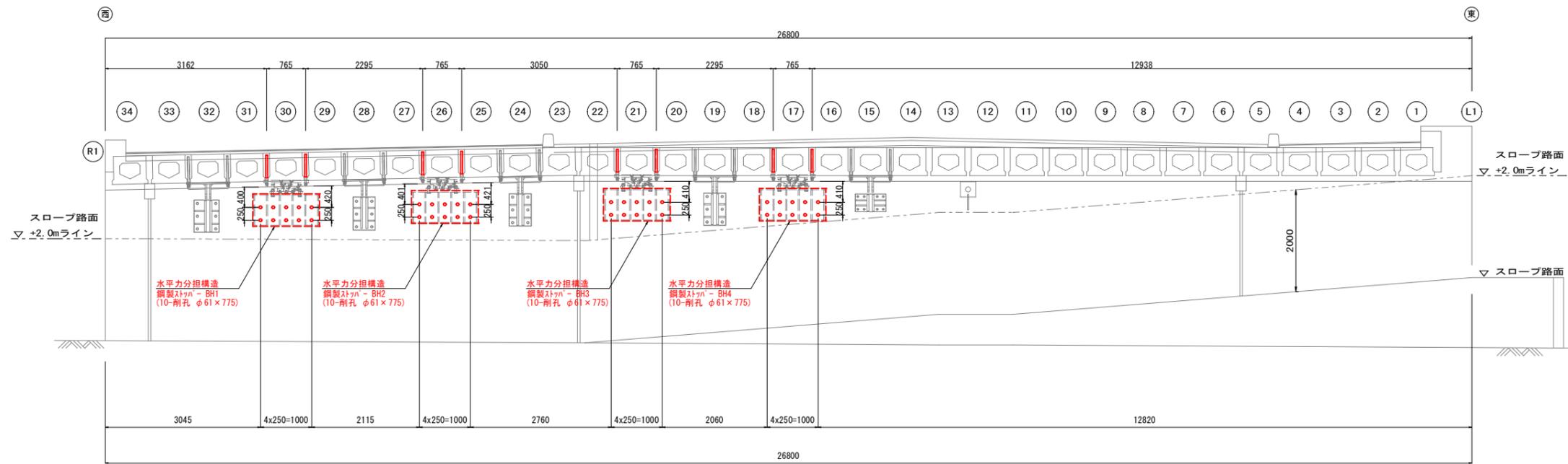
工事名	月の瀬橋耐震補強工事			
種別	【A1橋台】水平力分担構造 詳細図 (鋼製ストッパー) (参考図)	4	10	
事業名	道路事業	課長	課長補佐	係長 設計
	令和6年度			
高知市 都市建設部 道路整備課				

【A1橋台】アンカーボルト 削孔図

平面図
S=1:50



正面図
S=1:50



- 注記
1. アンカー削孔前に鉄筋探査を行い、既設鉄筋を切断しないように留意すること。
 2. 既設構造物寸法形状は、工事に先立ち再計測・再確認を必ず実施し、工事に反映すること。

工事名	月の瀬橋耐震補強工事				
種別	【A1橋台】アンカーボルト 削孔図				5/10
事業名	道路事業	課長	課長補佐	係長	設計
	令和6年度				
	高知市 都市建設部 道路整備課				

【P1橋脚(起点側)】水平力分担構造 詳細図

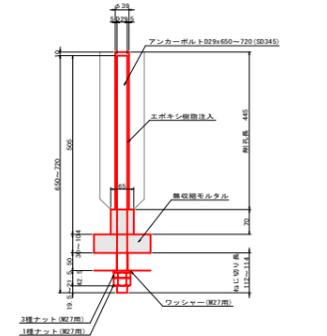
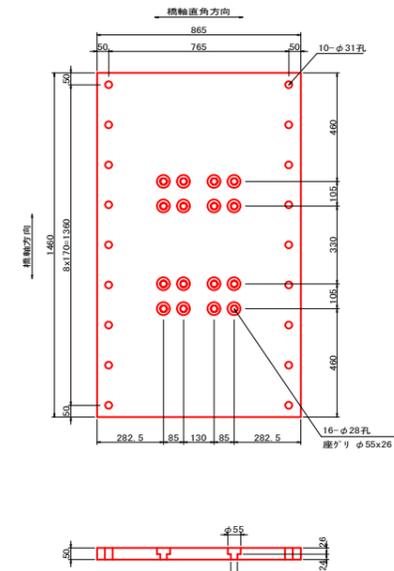
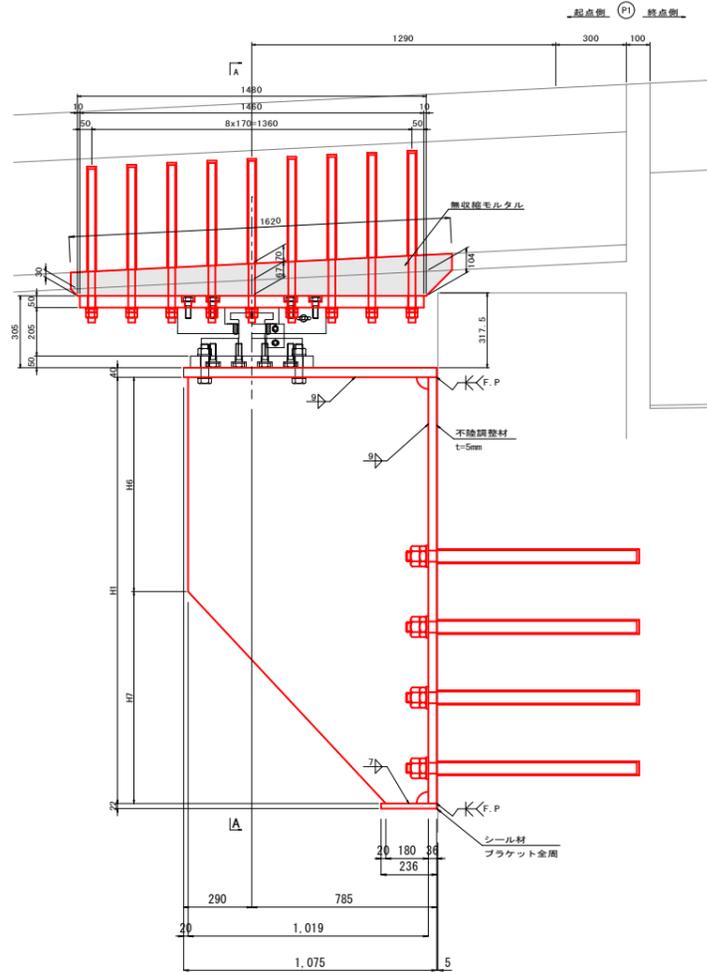
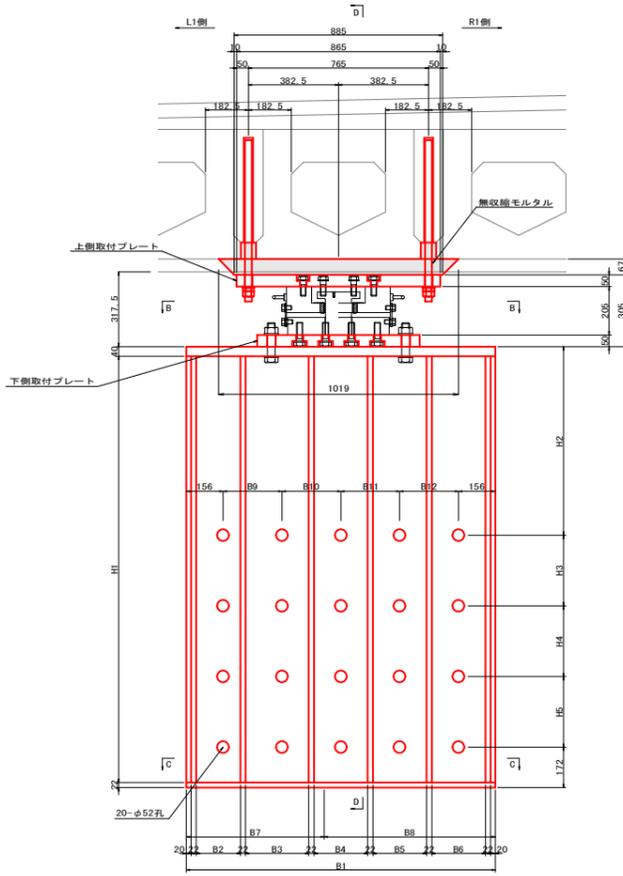
BH1~BH7
S=1:15

上側取付プレート
S=1:15

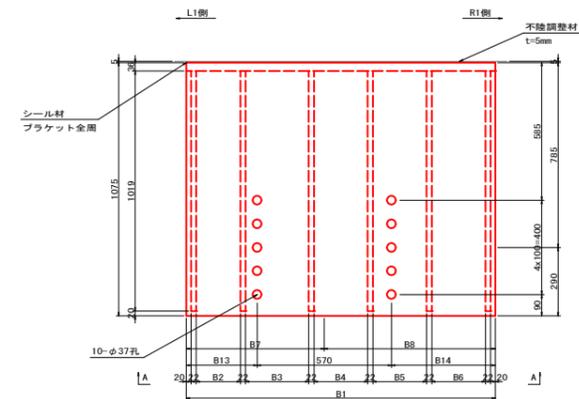
アンカーボルト詳細図
S=1:10

【A-A】

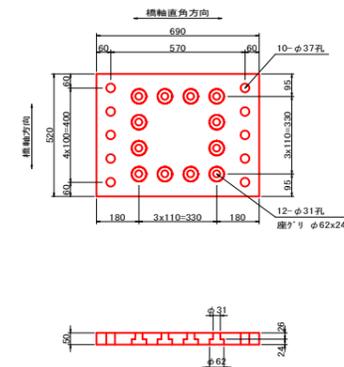
【D-D】



【B-B】



下側取付プレート
S=1:15



【1基当たり材料(製作数:7)】
 1-PL 1075×40×B1 (SM490YB)
 1-PL 236×22×B1 (SM490YB)
 1-PL H1×36×B1 (SM490YB)
 6-PL 1019×22×H1 (SM490YB)

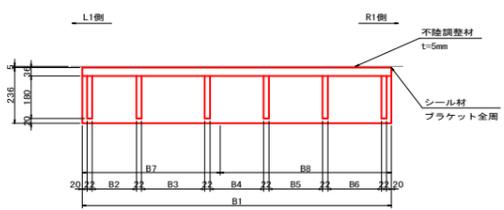
1-PL 865×50×1460 (SS400)
 1-PL 520×50×690 (SS400)

18-Anc Bolt D29×690 (SD345) (平均)
 18-1種 Nut M27用 (SS400)
 18-3種 Nut M27用 (SS400)
 18-Washer M27用 (SS400)

20-Anc Bolt D51×980 (SD345)
 20-1種 Nut M48用 (SS400)
 20-3種 Nut M48用 (SS400)
 20-Washer M48用 (SS400)

	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	B8	B9	B10	B11	B12	B13	B14	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7
BH1	1312	188	268	228	228	228	586	726	250	250	250	250	301	441	1810	800	300	300	300	910	900
BH2	1427	248	318	208	258	223	646	781	370	250	250	245	361	496	1810	800	300	300	300	910	900
BH3	1312	188	268	228	228	228	591	721	250	250	250	250	306	436	1810	800	300	300	300	910	900
BH4	1312	228	228	228	228	228	626	686	250	250	250	250	341	401	1810	800	300	300	300	910	900
BH5	1337	188	293	228	228	228	586	751	275	250	250	250	301	466	1810	800	300	300	300	910	900
BH6	1312	193	263	228	228	228	591	721	250	250	250	250	306	436	1760	730	320	300	300	850	910
BH7	1312	228	228	228	258	198	661	651	250	250	250	250	376	366	1725	695	320	300	300	815	910

【C-C】

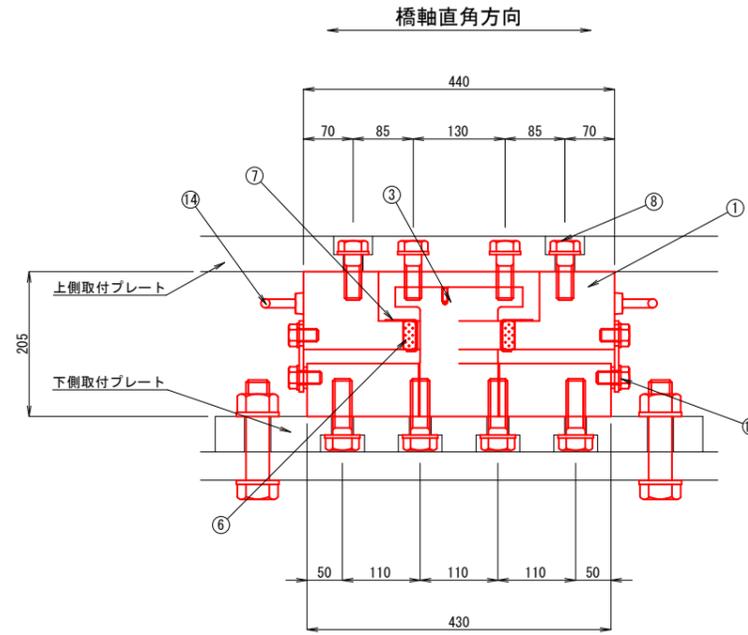
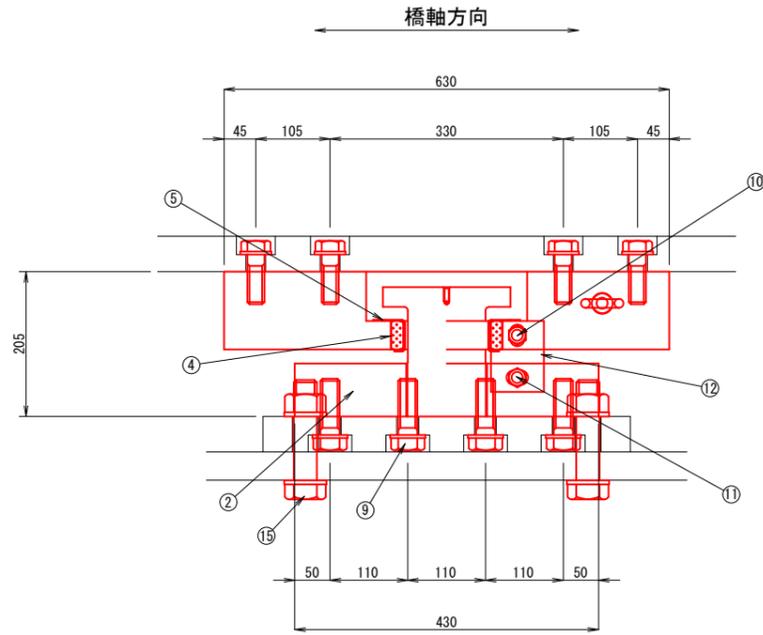


注記
 1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全てR50とする。
 3. ※部材以外は全て溶融亜鉛メッキとする。
 垂鉛の付着量は JIS H8641 HDZ55とする。但し、ボルト・ナットはHDZ35とする。
 4. 既設構造物寸法形状は、工事に先立ち再計測・再確認を必ず実施し、工事に反映すること。
 5. 製作は現地計測確認の上行うこと。

工事名	月の瀬橋耐震補強工事				
種別	【P1橋脚(起点側)】水平力分担構造				7/10
事業名	道路事業	課長	課長補佐	係長	設計
令和6年度					
高知市 都市建設部 道路整備課					

【P1橋脚(起点側)】水平力分担構造 詳細図(鋼製ストッパー) (参考図)

詳細図
S=1:5



鋼製ストッパー材料表

番号	名称	規格	単位	数量	摘要
1	ソールプレート	SEL-N1600-0	個	1	SM490A:亜鉛7%溶射処理
2	リミットアッププレート	SEL-1600用	個	1	SM490A:亜鉛7%溶射処理
3	リミットダウン	SEL-1600用	本	1	SCM435:90度溶射処理,DMコート
4	ハッファ-A	SEL-1600用	個	2	クロムレンガム
5	ハッファガイドA	SEL-1600用	個	2	SUS
6	ハッファ-B	SEL-1600用	個	2	クロムレンガム
7	ハッファガイドB	SEL-1600用	個	2	SUS
8	セットボルト(上側)	M24x75 1W,1SW付	組	16	強度区分8.8:亜鉛めっき(HDZ35)
9	セットボルト(下側)	M27x85 1W付	組	12	強度区分8.8:亜鉛めっき(HDZ35)
15	取付ボルト	M33x150 2W付	組	10	強度区分8.8:亜鉛めっき(HDZ35)
納入時用部材					
10	仮固定ボルトA	M18x30 1W付	組	4	SS400相当品:電気めっき
11	仮固定ボルトB	M18x35 1W付	組	4	SS400相当品:電気めっき
12	仮固定プレート	SEL-N1600用	個	4	SS400:電気めっき
13	スベーク	SEL-N1600用	個	4	SS400相当品:溶融亜鉛めっき
14	アイボルト	M16	個	4	SS400相当品:亜鉛めっき(HDZ35)

部材図

① ソールプレート
S=1:10

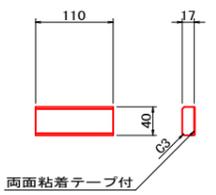
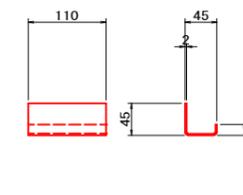
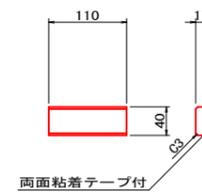
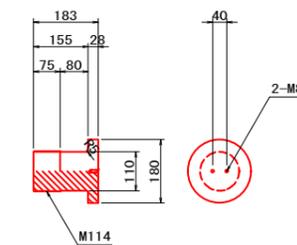
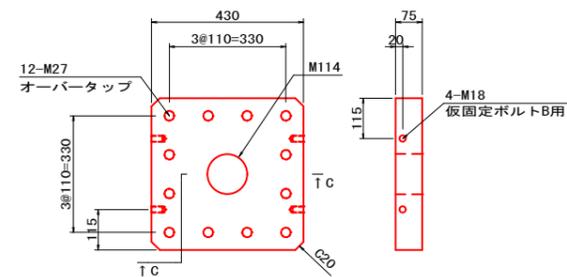
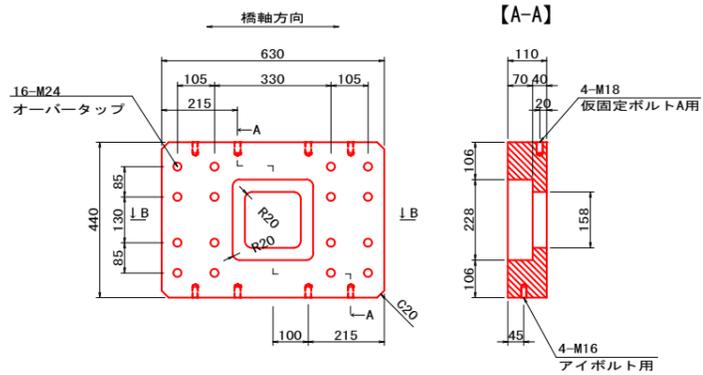
② リミットアッププレート
S=1:10

③ リミットダウン
S=1:10

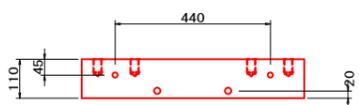
④ ハッファ-A
S=1:5

⑤ ハッファガイドA
S=1:5

⑥ ハッファ-B
S=1:5



【B-B】



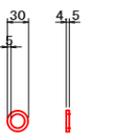
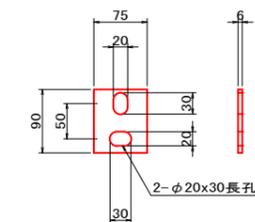
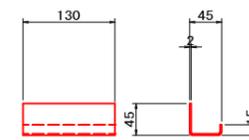
【C-C】



⑦ ハッファガイドB
S=1:5

⑫ 仮固定プレート
S=1:5

⑬ スベーク
S=1:5



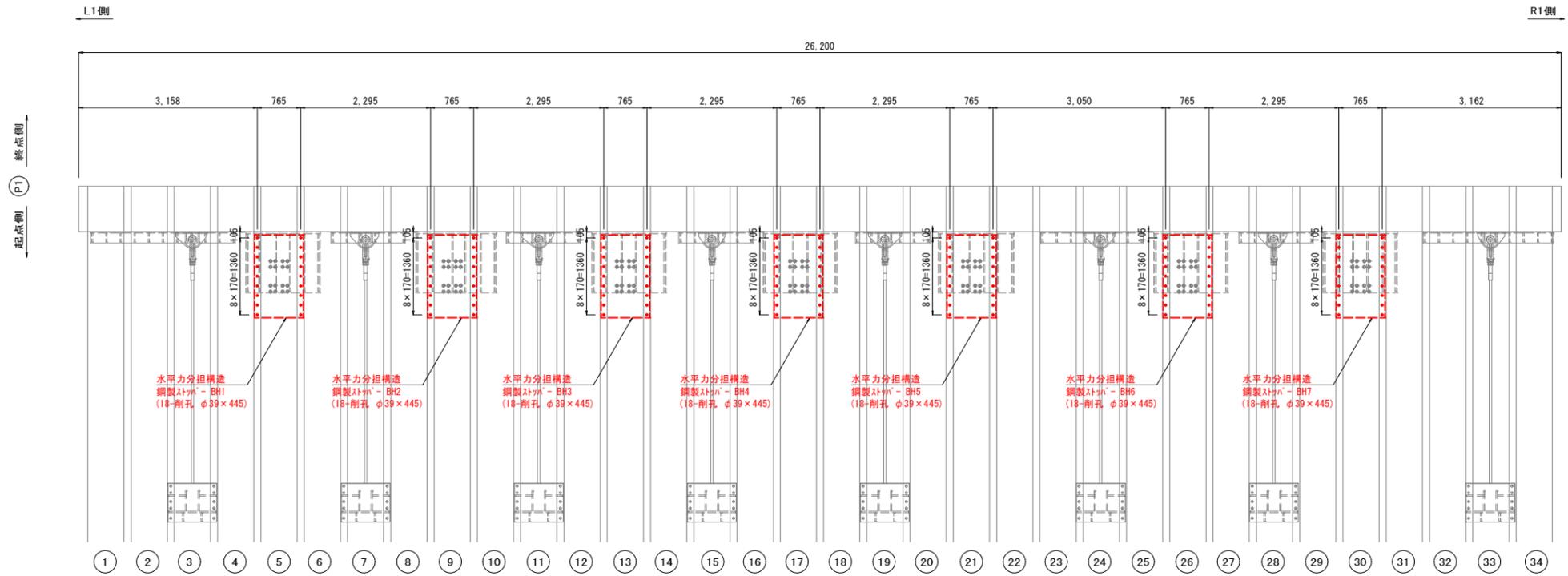
注記

- 鋼製ストッパーの納入時組立高さは、取付詳細図に示す製品高+10mm程度とする。
- 取付時は仮固定ボルト他、納入時用部材を取り外し、所定の高さで設置すること。
- 納入時用部材を取り外した後のタップ孔は樹脂ボルトもしくはパテ材で埋めること。
- 既設構造物寸法形状は、工事に先立ち再計測・再確認を必ず実施し、工事に反映すること。
- 製作は現地計測確認の上行うこと。

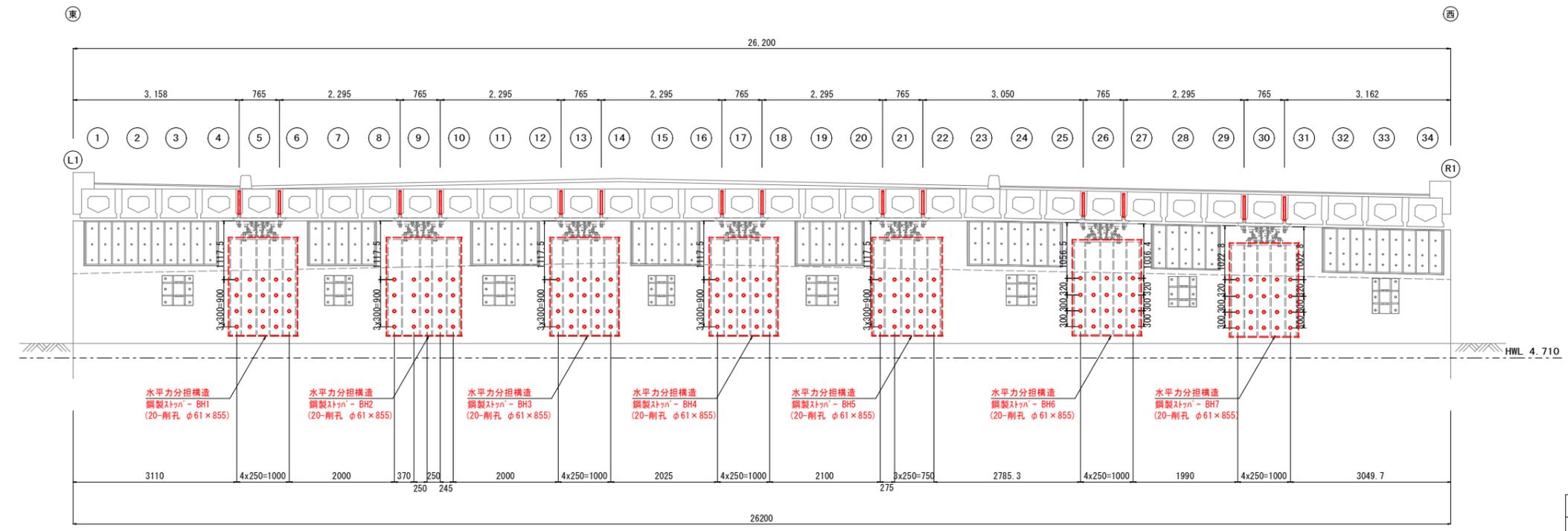
工事名	月の瀬橋耐震補強工事			
種別	【P1橋脚(起点側)】水平力分担構造 詳細図(鋼製ストッパー)(参考図)			8/10
事業名	道路事業	課長	課長補佐	係長 設計
令和6年度				
高知市 都市建設部 道路整備課				

【P1橋脚(起点側)】アンカーボルト 削孔図

平面図
S=1:50



正面図
S=1:50

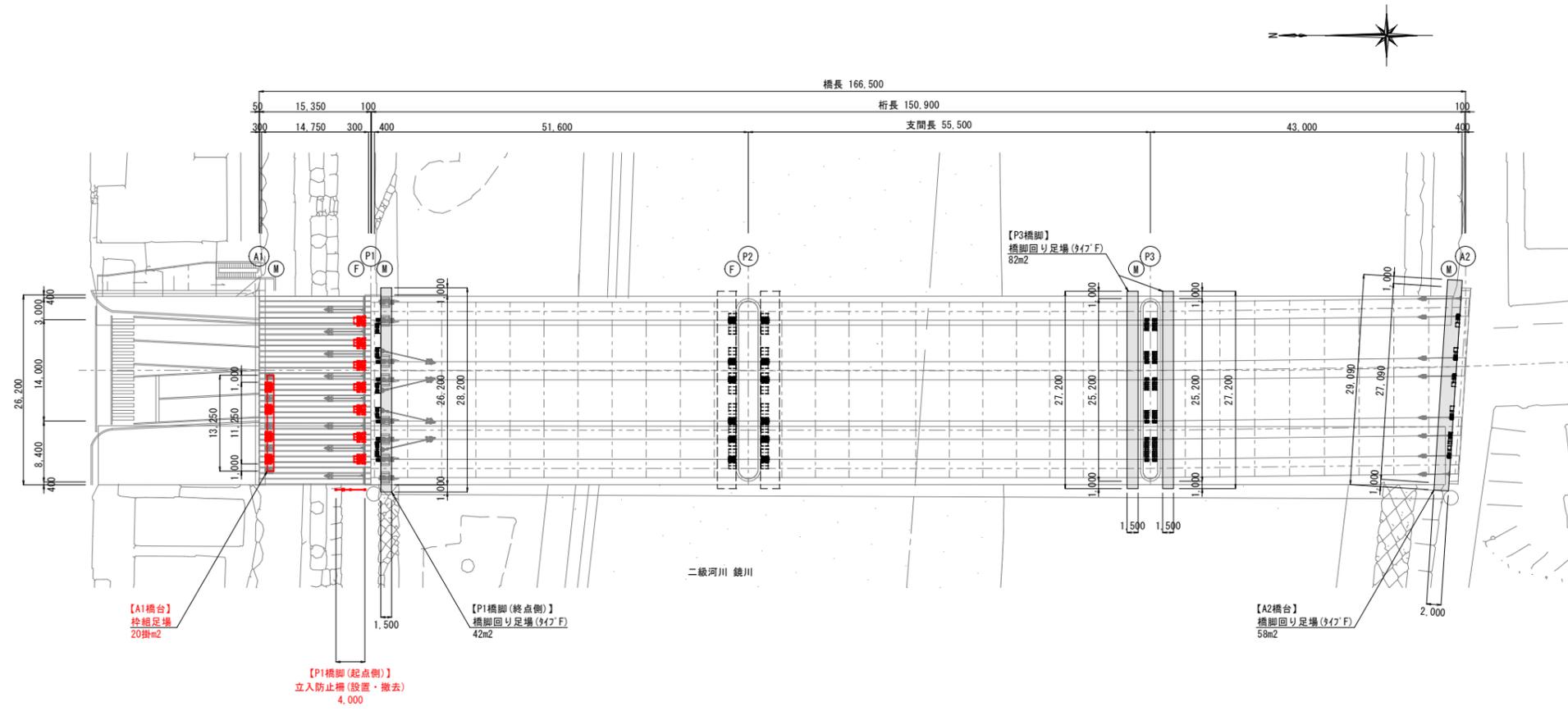


工事名	月の瀬橋耐震補強工事				
種別	【P1橋脚(起点側)】アンカーボルト削孔図				9/10
事業名	道路事業	課長	課長補佐	係長	設計
	令和6年度				
高知市	都市建設部	道路整備課			

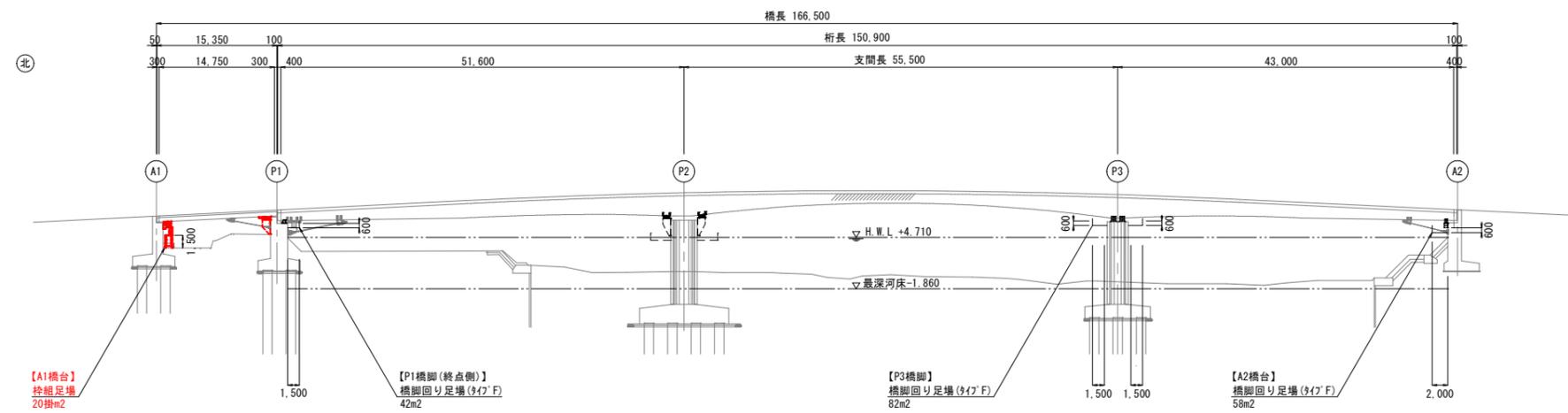
注記
1. アンカー削孔前に鉄筋探査を行い、既設鉄筋を切断しないように留意すること。
2. 既設構造物寸法形状は、工事に先立ち再計測・再確認を必ず実施し、工事に反映すること。

仮設工図 (参考図)

平面図
S=1:400



側面図
S=1:400



工事名	月の瀬橋耐震補強工事			
種別	仮設工図(参考図)			10/10
事業名	道路事業	課長	課長補佐	係長 設計
令和6年度				
高知市 都市建設部 道路整備課				